

緑土会

土木卒業生の同窓会である緑土会の会員は、およそ 5,600 名である。

緑土会は、定例行事として毎年 11 月に総会を開催し、学位授与式には学業と課外活動等で顕著な活躍をした学生に「緑土会賞」、「緑土会 優秀発表賞」を授与している。なお、在学生で組織される「新緑会」にも援助しており、卒業生の寄付金である「学術文化基金」より土木教室へ支援を行っている。

土木工学科は、平成 5（1930）年に第 1 回の卒業生を送り出し、平成 12（2000）年に 70 周年を迎えた。その記念事業として基金を募り、記念名簿と記念誌「緑土会 70 年の歩み」を発行し、11 月に東京ヒルトンホテルで会員及び招待者多数の出席をえて、盛大な記念式典を行った。

緑土会の会員は全国各地に広がり、その結集力の強さは、武蔵工業会の本部及び支部の活動に大きな支えとなり貢献している。バブル崩壊と共に、建設業界を取り巻く環境が一段と厳しくなる中で、新しい時代のニーズに応えるべく、土木工学科は平成 14（2002）年 4 月より「都市基盤工学科」となった。数年後にはその 1 期生を会員に迎えることとなる。

現在（平成 15 年）、緑土会の会長は中部恭一（昭和 37 卒）である。

引用文献

武蔵工業大学 75 年史編さん部会: 武蔵工業大学 75 年史, 学校法人五島育英会, pp.349-347,
平成 17 年 3 月 31 日発行